

「命の道」 伊豆縦貫自動車道だより

津波被害・・・伊豆縦貫道Ⅰ期工区（六丁目～箕作）無かったら・・・

◎箕作～下田旧町内まで、約10kmの道路啓開が必要です。救助・救援が来るのは、何日後？

■岩手県釜石市 国道45号
(東日本大震災被災直後～道路啓開後)■

津波被災直後



何キロも続く瓦礫

※道路啓開とは？

1車線で緊急車両のみでも、とにかく通れるように瓦礫を切開き処理し、簡易な段差修正などにより救援ルートを開ける作業

～平成24年8月発行

道路啓開 作業中



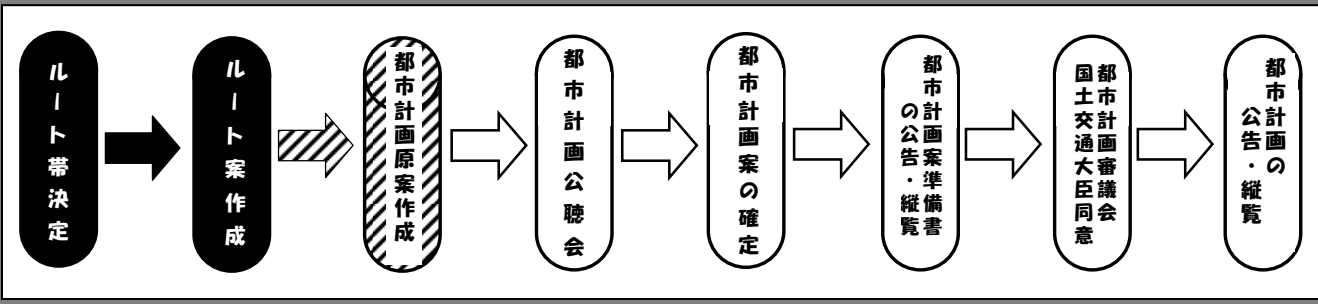
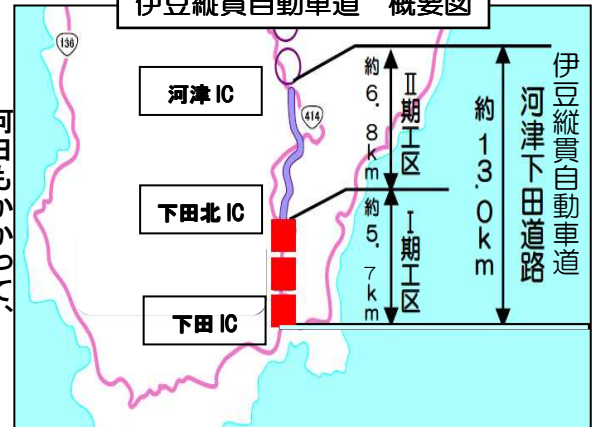
切開く(啓開)

道路啓開 作業後



何日もかかって、
ようやく、救援が・・・
下田までの距離は遠い

伊豆縦貫自動車道 概要図



伊豆縦貫自動車道都市計画原案説明会のご案内
(8/20 浜崎地区・8/22 白浜地区・8/24 朝日地区で開催します。)

伊豆縦貫自動車道都市計画原案説明会 ご意見・ご質問の紹介

平成24年7月5日 下田市民文化会館での全体説明会を皮切りに、下田地区・稲生沢地区・稲梓地区に於いて、全体説明会・地区詳細説明会を合計8会場で開催させて頂きました。どちらの会場からも、市民の皆様から多数のご意見・ご質問がございましたので、ご紹介させて頂きます。また、8月20日より浜崎地区・白浜地区・朝日地区の全体説明会、及びご要望のございました地区での詳細説明会を順次開催する予定です。



質問1：工事着工から開通まで、おおよそ何年くらいかかるのでしょうか？

回答1：都市計画決定後に、まず道路計画説明会を行います。この道路計画説明会から用地測量・物件調査までが2～3年、用地交渉・買収が3年～5年、工事が5～10年で、開通まで最短でも10年以上の日数がかかります。早期完成する為にも、市民の皆様のご協力をお願い致します。

質問2：ルート帯は、いつ決まったのでしょうか？また、今回の説明が有ったルート案は、どの様に作られたのでしょうか？

回答2：ルート帯については、平成14年度に学識経験者、地元代表者から構成された「河津下田道路検討委員会」により、地元住民への意見聴取（車座集会・アンケート調査）を行い、検討を重ねた結果、平成15年2月に「望ましいルート帯」としてAルート帯を国土交通省に提言しました。その後、国土交通省で正式に「Aルート帯」が決定しました。今回、お示し致しました「ルート案」は、Aルート帯の中から「住居密集地・歴史的重要な物・温泉源・鉄道河川・希少動植物生息地」を出来るだけ避ける中で、総合的に判断してご提示いたしました。

説明会来場者数：全体説明会（下田地区・稲生沢地区・稲梓地区）、地区詳細説明会（広岡西区・岩下区・箕作、相玉区） 合計で約705名が来場されました。

※次号の「伊豆縦貫自動車道だより」でも、皆様からのご意見・ご質問の紹介をさせていただきます。

◎「伊豆縦貫道シンポジウム」開催の御案内◎

～伊豆縦貫道 早期全線開通を目指して～

○主催：伊豆縦貫自動車道建設推進期成同盟会（事務局 下田商工会議所内）

○開催日時：平成24年9月11日（火） 14:00～17:00（終了予定）

○開催場所：下田市民文化会館小ホール（定員150名） 定員になり次第締め切ります

○内容：

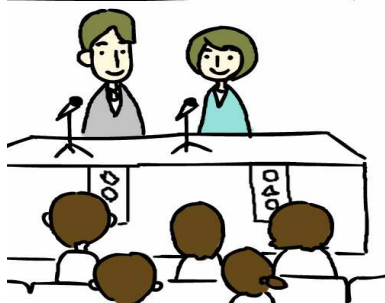
1：取組紹介「伊豆半島ジオパーク構想について」

2：基調講演「命の道・伊豆縦貫自動車道」

3：事業報告「伊豆縦貫道の進捗状況について」

4：パネルディスカッション「防災、観光における伊豆縦貫道の役割」

〇〇シンポジウム



※シンポジウムに関するお問い合わせは、下田商工会議所 Tel.0558-22-1181 へお願いいたします。